



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF OMIHACHIMAN
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION
 OF
 Y'S MEN'S CLUB

2025 年 8 月号



例会場：アンドリュース記念館
 (ヴォーリズ建築第1号)

HEAD QUARTERS

SHIGA Y.M.C.A.
 537-3 TAKAKAI-CHO
 OMI-HACHIMAN SHIGA
 523-0891 JAPAN
 TEL 0748(33)2420
 FAX 0748(34)8230

会 長 岡 田 弥 生 書 記 太 田 美智代
 直前会長 岡 田 弥 生 会 計 塩 貝 友 也
 次期会長 塩 貝 友 也

<http://hama510tori15shira8.wixsite.com/my-saite>

例会日：毎月第3土曜日 出席第一・時間厳守・奉仕 創立 1948 年 5 月 17 日

会 長 主 題 岡 田 弥 生 (近江八幡) 「愛でつなぐパート2」
 びわこ部長主題 安 澤 勝 (彦根シャトー) 「がんばろう 西日本区! がんばろう ワイズ!!」
 西日本区理事主題 中 井 信 一 (奈良) 「世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!」
 アジア会長主題 田 上 正 (熊本むさし) 「信念と愛を持って行動しよう!!」
 国際会長主題 エドワード オン (シンガポール) 「信念、愛、行動」

8 月 第 1 例会 (地域奉仕・環境例会)

日 時 : 8 月 16 日 (土) 19:00~21:00

会 場 : アンドリュース記念館

19:00 会食
 19:30 司会 太田 ワイズ
 開会点鐘 岡田 会長
 ワイズソング斉唱
 点呼 会務報告 太田 書記
 20:00 講話 災害ボランティア 宮城 光夫氏
 「能登の現状からみた日頃の備え」
 20:45 ドライバータイム 安田 ワイズ
 20:55 YMCA の歌
 21:00 閉会点鐘 岡田 会長
 記録 浅岡 ワイズ

-宮城 光夫氏のプロフィール.....
- ・京都府災害ボランティアセンター運営委員 (初動支援員)
- ・京都災ボラバンク 代表
- ・被災現場 40~45 回訪問経験 長岡京市在住

8 月のハッピーデー

◆誕生日
 八木 ふよう 20 日
 西川 みち子メネット 21 日
 ◆結婚記念日
 檜山 秋彦 20 日



8 月の予定表

- ◆ 11 日 14 時 びわこ部第 1 回評議会
 15 時 びわこ部 EMC シンポジウム
 会場 彦根勤労福祉会館
- ◆ 5・6・9 日 YMCA 学童教室・理科実験・工作教室

7 月度出席状況

在籍者数 18 名 功労会員 2 名
 出席者数 17 名 ゲスト 4 名
 メイクアップ 0 名 メネット 3 名
 出席率 93.8% (算定会員 16 名)
 ニコニコ 11,000 円

今月の聖句

「求めるものが得られる祈り」マタイ 21:18-22

祈りとは、悔い改めであり、賛美であり、願いである。私たちが祈る祈りのそれぞれの割合はどれくらいであろうか？私などは圧倒的に願いが多い。家族の健康から世界の平和、教会の成長...願いはつきることがない。そしてある願いはかなえられ、ある願いは未だかなえられていない。キリスト教は御利益宗教ではない。しかしイエスは「求めなさい」と言う。「信じて求めるならば何でもかなえられる、信仰が山をも動かす」と言う。

マタイによる福音書 21 章 18-22 節には、イエスが、葉は茂るのに実のなっていないいちじくの木を呪って枯らせてしまう物語がしるされる。一読すると身勝手な理不尽な物語であるように思える、いちじくの木に同情すらしてしまう。「ご主人さま、今年もこのままにしておいてください」と別のいちじくの木を守った園丁のたとえ話を語った人と同一人物とは思えない一連の言動である。しかし、イエスはここで「実」を求め、そんな姿勢が木を枯らし、信じて祈ることについて語る。「実」とは信仰である。体裁を整えることを求めているのではなく、そこに信仰があるかどうかを問題としているのである。私たちが信仰をもって祈るとき、求めるものは何でも与えられる。信仰は力である。しかし、その力は私が所有しているものでも、内から出てくるものでもなく、ただ与えられるものである。すなわち信じて祈り、何でも得られるという事は、私の願いが実現するのではなく、神から与えられた信仰による願いが実現することを意味するのである。

「私の求め」「私の願い」の前に
 「神の求め」「神の願い」に耳を澄ませる、そのような「実」のある祈りをイエスは求めておられる。

小泉 嗣 (日本福音ルーテル熊本教会牧師)



< 強 調 月 間 > 戦略 2032

次世代リーダーの育成と若者の積極的な参加促進を目指して地域社会に持続的でポジティブな変化をもたら
 し、地域社会全体の生活の質を向上させよ
 河合博之 西日本区書記 (京都トップス)

7月から新しい期、第77期が始まりました。担当主事も代われ近江八幡クラブは18名のスタートです。新しい役割も決まり事業計画も配布されました。

今年は、地球温暖化の影響か35℃を超える猛暑日、毎日うだるような暑い日が続き外出するのも危険な状態。まだ、7月なのに8月～9月はどうなるのだろうと不安になりますね。又、年齢も重ねるごとに、日々出来る事も挑戦したい事も少しずつ減ってきたように思います。気持ちはあるのですが頭と身体がクエッションを感じてしまいます。ですが、ここで立ち止まっても仕方がないので前に少しずつでも進んでいけたらと・・・まずは自分の好きなことや得意なことから始めて、やる気に繋げていこうと思っております。

書記も今期で3回目を引きうけさせて頂くことになりましたが、間違いや足りないことも多々あると思います。何とか最後まで頑張っていけるように努力する所存です。見守って頂けたら嬉しいです。



7月度第1例会

7月19日(土)開催

藪 秀実

酷暑の7月19日(土)、ヴォーリズ来日120年記念事業「バンザイなこっちゃ!協議会」第4回講演会の後の19時からいつものアンドリュース記念館で新たな「期」を迎えるキックオフ例会を開催しました。

前期に続けて第77期会長を務められる岡田弥生ワイズの点鐘ではじまった例会は、びわ湖部長公式訪問でもありました。安澤 勝部長、鈴木康雄書記、富田恵一会計をお迎えして、安澤会長から「がんばろう西日本区!がんばろうワイズ!」の主題について所信表明を賜り、先日(7月12日、13日)開催の西日本区役員会報告もいただきました。今期から西日本区としてのBF切手の取り扱いを中止することが決定されたことや、各クラブに所属するYMCA担当主事のメンバーシップや会費に関する取扱いについての協議の経過等も丁寧に説明くださいました。

そして、我がクラブの岡田会長からは主題「愛でつなぐ」と年間計画等について、書記の太田美智代ワイズ、塩貝友也ワイズ、会計の平田美喜蔵ワイズ、そして八木ふようEMC委員長、藪 秀実Yサ・地域奉仕環境委員長、浅岡徹夫国際・交流委員長、坂井 繁広報委員長、平田美代子メネット委員長、安田博彦ドライバー委員長、堀江 宏ヒストリアン委員長からそれぞれ今期の予定や抱負を語っていただきました。それぞれに充実した内容と説明で今期に向けた意気込みを共有できたと思います。今期はもちろんですが、次期はびわこ部から岡村遍導理事を輩出することが決定しており、びわこ部長は我が平田美喜蔵ワイズがお務めくださいます。それらを見据えた動きがすでに始まっています。

また、今期からはYMCA担当主事が大黒真佐実主事から南堀 澄主事に交代することもあり、今回は両主事が共に例会に参加くださいました。松本太一ワイズが前期末で退会されたことは残念ではありますが、新たなメンバーも加えて今期から来期に向けても精力的に活動が続けたいと心したキックオフ例会でした。メン、メネット、ゲストあわせて25名の例会参加者でした。



Yサ・地域奉仕環境委員長 委嘱状



ワイズ戦略委員長委嘱状



77期新三役の方々



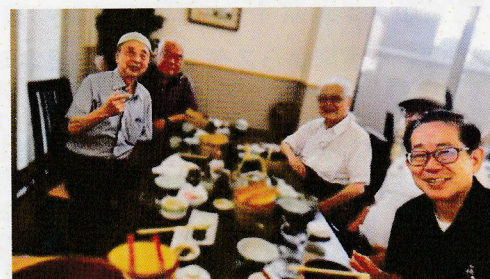
誕生日お祝い

ヴォーリス来日 120 年記念事業 バンザйнаこっちゃ！協議会
 ヴォーリスさんとひと創り、まち創り
 ～愛と平和に満ちた共に生きる社会をめざして～



ヴォーリス来日 120 年記念事業「バンザйнаこっちゃ！協議会」第 4 回講演会が 7 月 19 日 13 時 30 分からヴォーリス学園平和礼拝堂で開催されました。この催しには滋賀 YMCA、ワイズメンズクラブびわ湖部の関係者も多く参画くださっていて大いに盛り上がっています。今回のテーマは「ヴォーリスさんのびっくりリボン！」でした。「国会議事堂のドアノブってヴォーリスさん？」では大門耕平氏（東北学院大学准教授）、「ヴォーリス建築と観光まちづくり」は角野幸博氏（関西学院大学ヴォーリス研究センター長）、そして「近江八幡とヴォーリス建築～近代建築調査 2025 より～」は山形政昭（関西学院大学ヴォーリス研究センター研究員）からでした。特に大門先生からのヴォーリスさんたちが手掛けた「近江セールズ」による国産鍵（マスターキー）の技術が建設時の国会議事堂に採用されており、その一部が現在も残されているとの研究には多くの注目が集まっていた。次回、第 5 回（9 月 20 日）は「ヴォーリスさん、満喜子さんをドラマに！」のテーマで作家の玉岡かおる氏が講演される予定で今から楽しみです。10 月 23 日からの一週間は「ヴォーリスの足跡を訪ねる北米旅考」、11 月 11 日～14 日は「韓国のヴォーリス建築を巡る祈りの旅」（大阪クリスチャンセンター主催）の企画も募集されています。滋賀 YMCA は昨年、韓国のソウル市に隣接する城南 YMCA と交流提携を結んだことから、この旅行に参加して 2 日目の自由時間に城南 YMCA との交流をもつ計画を組んでいます。久保田総理事、坂井ワイズ（YMCA 監事）、藪が参加の予定ですが、ご希望者がございましたら是非とも一緒にしましょう。

そして翌日の 7 月 20 日（日）には「汽船でゆく今津ヴォーリス通り」に我がクラブからは堀江 宏ワイズ、美美ワイズ、岡田会長、太田書記、平田ワイズ、瀬間ワイズ、安田ワイズ、藪、滋賀蒲生野クラブから三原ワイズ夫妻が参加しました（40 名定員の満席でした）。長命寺港からヴォーリスさんたちが運航していた「ガリラヤ丸」の航路に倣い今津港までの船旅を楽しみました。猛暑ではありましたが、穏やかな湖上からの景色は絶景で、船中では 1937 年にヴォーリスさんたちが制作していた記録フィルム「湖畔の人々」を鑑賞し、ヴォーリスさんの腹心であった吉田悦蔵の孫の吉田与志也氏から解説をいただきました。今津では「ヴォーリス通り」にある今津ヴォーリス資料館（旧百三十三銀行）、旧今津郵便局、今津教会をゆっくりと見学し、今津教会では「湖北、湖西とヴォーリス」との講演会を吉田与志也氏から聴きました。今津ヴォーリス資料館を指定管理しているのは高島クラブの石田ワイズが代表をされている「あすラボ」さんであり、今津教会は YMCA、ワイズメンズクラブ OB の後藤先生が牧師されておられることもあり、高島クラブの伊藤会長もお手伝いに駆けつけてくださいました。仕事柄、私は「バンザйнаこっちゃ！協議会」の事務局も務めています。多くのサポーター、特に YMCA、ワイズメンズクラブのメンバーに支えられてこの事業を進めることができていることに感謝とともに大きな喜びを感じています。まだまだ続く、「バンザйнаこっちゃ！」。これからもよろしくお願い致します。



■2025年度滋賀YMCAキャンプリーダーのトレーニングが行われました。

今年度のサマーキャンプで奉仕するボランティアリーダーの実技トレーニングを、7月12日(土)～13日(日)の1泊2日で実施しました。

暑い2日間でしたが、子どもたちの指導者として必要な技術をしっかり学びました。プログラムでは、犬上川での川遊び(高学年向け)の実施と安全管理、カヌーの操船方法、せせらぎでの川遊び(幼児・低学年向け)、野外料理の方法、日本ミツバチの生態観察などを体験的に学びました。

リーダーOBOGのサポートもあり、誰一人として体調を崩すことなく、充実した研修を終えることができました。8月1日から始まる今年度のサマーキャンプにどうぞご期待ください。



■能登半島被災地の子どもたちを招待する「立山リフレッシュキャンプ」を計画。

滋賀YMCAは、昨年に続き、日本YMCA同盟および富山YMCAと連携し、能登半島で被災した子どもたちの心のケアを目的とした「リフレッシュキャンプ」を実施します。今年度も能登から25人以上の子どもたちが参加予定です。キャンプは、滋賀・富山両県の子どもの間での交流を通じて、心の回復と新たな友情の芽生えを育む場として企画されています。

皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

リフレッシュキャンプA 「能登立山フレンドシップキャンプ」

日程：2025年8月18日(月)～8月20日(水)

場所：国立立山青少年自然の家

■ハニーワールドが復活。

2021年度末からスタートした、日本ミツバチを飼育する「風の谷ハニーワールド」は、ワイズメンズクラブの皆さまのご支援により活動してきましたが、2023年の夏にスミシの被害を受け、群が全滅してしまいました。しかし、今年4月にかつて設置していた別の巣箱に、新たな群れが巣を作っているのを発見しました！リーダーたちも大喜びです。今後、この日本ミツバチをプログラムなどのように活かしていくか、検討を進めています。

6月29日(日)毎年恒例の風の谷キャンプ場の清掃及び草刈りが行われました。9時にオリエンテーションから始まり、各自持ち場に分かれて作業が開始されました。

私は、池の周りの道の両側の草刈りから始めました。暑い日ではありましたが、まだましな天候ではなかったかと思います。合間に水分を補給しながら、作業を進めていきました。私は仕事柄太陽の下でやっていますので一般の方より暑さには強い方だと思います。

お昼ご飯の案内がありいつもの美味しいカレーを戴き、一息の休息でした。

午後から、朝の続きで池の中程まで進むと長浜のメンバーさんが、この辺りから管理棟が見える様に竹、小枝を払って、巾2m位開けておられました。

メンバーさんが、これ以上無理で危ないですと言われましたが、もう少し幅を広げようと草刈り機とチェーンソーで1時間程かけて巾10mまで切り開き、管理棟がスッパリ見えるまでになりました。そうこうしていると、会長さんから電話があり、「松本さん何処ですか？皆さん帰られましたよ」との事。各自勝手に解散・帰宅には驚きました。やはり、最後は「皆さんお疲れ様でした」の挨拶があってもよいのでは？私が帰る時は、地元のメンバーとリーダーだけで誰もいませんでした。ワイズの方々、全員とは言いませんが、いう事はしっかり発言されますが、その辺はいかなものかな？今期で退会しますので、最後の奉仕をさせて頂きました。ありがとうございました。



8月度 各クラブ並びにワイズ日程表 メイクアップ致しましょう！！！！

4日	月	彦根クラブ第1例会
5日	火	滋賀蒲生野クラブ第1例会
7日	木	彦根シャトークラブ第1例会
9日	木	高島クラブ第1例会
12日	火	近江八幡クラブ役員会
14日	木	長浜クラブ第2例会
16日	土	近江八幡クラブ第1例会
21日	木	彦根シャトークラブ第2例会

あとがき

この度広報委員なるものを受けて2年目に入ろうとしています。決して適材適所の役ではありません。

人生の半分以上教育畑を歩いてきました。人・子供が好きだからですが、広報に必要なスキルなど全く持ち合わせていませんので、はたしてこの一年何が出来るか心配です。

瀬間 恭子